

令和6年度の一般会計当初予算については、3月議会最終日の3月25日に採決が行われ、賛成が過半数に届かず(賛成7人、反対10人)否決となりました。このままでは、一週間後にスタートする新年度に予定している多くの事業や市民サービスが実施できなくなることから、混乱を最小にするため、翌日、市長による判断で予算を決定(専決処分)しました。

予算が否決されたことにつきましては、市民の皆さまにご心配をおかけしました。市では、これからも、これまで同様、しっかりと丁寧に議員の皆さまへの説明を行ってまいります。



議員から質問や意見があった主なもの

公共交通を使った旅を応援する事業への質問

shinpayポイントを渡す方法に問題があるのでは？



自治会連合会を支援する事業への質問

広報紙の発行が1回になっても自治会の負担は減らないのでは？

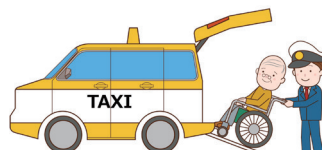


これらの理由で予算が否決となりました

予算が成立しないと 4月からの市民生活に影響が生じる主なもの



こども医療費の無償化など子育て支援ができなくなります



タクシー券の助成など、高齢者への支援ができなくなります



防災備蓄品の更新ができなくなります



道路の安全対策などが十分できなくなります



子どもたちが通う校舎の十分な改修ができなくなります



各種予防接種の費用補助ができなくなります

本来であれば、予算が市議会で否決された場合は、改めて議会の開催を要請し、理解を求めていくことが必要となります。しかし、今回は、新年度の開始まで時間がなかったために、**市民生活を混乱させないことが最優先である**と考え、このような決定をいたしました。

市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

令和6年度予算「新未来創造・育都実現予算」の詳しい内容は、「広報しづかわ」4月1日号をご覧ください

